



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.30 2005.3.23(No.2357)

第2560地区ガバナー / 横山 芳郎
会 長 / 渡邊 喜彦
会長エレクト / 小越 憲泰(クラブ奉仕A)
副 会 長 / 渡辺 勝利(クラブ奉仕B)
幹 事 / 五十嵐 寿一
S A A / 船越 正夫
会 計 / 荻根澤 隆雄

例会日 / 毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び事務局 /
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場 / TEL 34-3311
事務局 / TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押ししてください)

本日の出席会員数:68名中52名
先々週出席率:89.23%

【ヴィジター】

- ・三條北より 中條耕二さん

【先週のメイクアップ】

- [3.14] 高田東RCへ
・加藤紋次郎さん
- [3.15] 三條北RCへ
・浅野金治さん、熊倉昌平さん、
・渋谷正一さん



「ロータリーを祝おう 100年の歩み」
2004~2005年度国際ロータリーのテーマ



ハナキリン

会 長 挨拶

渡邊喜彦 会長



みなさんこんにちは。今日は、三條北クラブより中條さんようこそおいでくださいました。どうぞごゆっくりおくらしてください。

今日は、例会場をVIPさんに移しての最後の例会です。今日は少し時間を頂いて会長挨拶をさせていただきます。

先週の日曜20日に起きました、福岡沖地震の被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。また、昨日お亡くなりになられた原猛、野沢謹吾両パストガバナーに心より哀悼の意を捧げるものがあります。ご冥福をお祈り申し上げます。

さて、先週土曜日から月曜まで、ある研修会で山口県の下関、萩市へ出かけてまいりました。3年前から、幕末、明治にかけての維新で活躍した多くの方々の足跡を訪ねて来たものです。最初に薩摩、次に土佐、そして今年は長州でした。

長州下関では、高杉晋作の足跡を訪ね翌日は吉田松陰他、萩の城下を散策し帰宅した次第です。その研修の中で私が感じましたのは、今、日本は正に、環境条件の多少の違いはありますが、日本がアメリカをはじめ列強の国に植民地にされようとしていた幕末と同様な状況にあるのではないかと、ということです。そしてその当時立ち上がった若き青年たちは、自分の国を愛し国を救わんが為に命を投げ出した姿であります。もう徳川幕府に頼ってはられない、自分たちの力でなんとか国を救わなければ、という篤き心であったと思います。

今我が国も、政治を司っている議員の方々の国際社会に対する対応力には大変問題があり、このままで良いのか、という素朴な疑問でありました。そして、今一つ思うことは反対の立場から見てなぜあれだけの強大であった徳川幕府が、何故もろくも簡単にあっけなく崩壊してしまったのか、という疑問であります。最後の将軍である慶喜の優柔不断さも大き

な要因ではあると思いますが、しかしそれだけではなく私の思った事は「長く歴史を刻んできた組織、会社に共通する問題」でありました。それは、「マンネリ化したゆるんだ、たるんだ組織の姿」です。われわれも事業を営み、創業者以来代を重ねるごとに企業を発展、継承してまいります。誰もが長く順調に経営してゆきたい、願わくば未来永劫に。そして少しずつでもいい、発展成長させてゆければ、と思うものであります。

その時に心してトップに立つ者は、「決して創業の心を忘れず」常に真剣に取り組んでゆくことであると思います。長岡藩牧野家の代々の教え、「常在戦場」の心ではないか、そしてそれを忘れた徳川幕府はもろくも簡単に、わずか当時20歳そこそこの若者たちの力により倒幕されてしまったのです。

われわれも、今考えなければならぬのは我が国の正しい現状認識と、われわれが果たす役割と責任であろうかと思えます。

三菱自動車は、私もたくさん車両を使わせていただいております。三菱自動車は大変問題であり、内部の腐敗ぶりは皆様ご承知の通りであります。しかし、三菱グループ重工会長の「西岡 篤」氏の英断は、ただ経費を削減するための簡単にリストラに走る世のダメ経営者に一石を投ずるすばらしい決断であったと思います。再建を失敗したら、重工、商事も道連れになる可能性もある、西岡氏の胸中も決して勝算がある訳ではなく、むしろ雲をつかむような心境であったと思います。「失敗したら晩年を汚すこととなりはしないか」と自問自答を繰り返したことは、十分予想されることです。しかし、西岡氏は三菱グループの経営理念を大切に英断されたものと思います。

とかくわれわれは、易きに流れ、流されようとしがちです。

しかしその今の風潮に待ったをかけた、西岡氏と三菱グループ。古色然としているかも知れませんが、安易に社員を切るいい加減な経営者より、働く人間が燃えるのは、安心してついてゆける「親分」がいるかないかであると私は思うところであります。

本日の卓話は、若槻会員であります。若槻さんの卓話にご期待し、会長の挨拶を終わらせて頂きます。

幹事報告

五十嵐寿一幹事

新潟西 RC より

創立 30 周年記念式典のご案内がとどいております。

と き 6月12日(日) AM10:00 ~

ところ ホテルオークラ新潟

4 F コンチネンタル

次週 3月30日(水)の例会場は三条信用金庫本店になり通常例会場になりますので、よろしくお願い致します。

ニコニコ BOX

中條耕二さん

昨年から北クラブ 20 周年記念事業で進めてきました、仮称三条東クラブ、お陰様で发起人 15 名確定致し、あと一息です。五十嵐昭一様より拡大委員にお願いしてありますので、よろしく申し上げます。

渡邊喜彦さん

前日、週刊文春に載せてもらいました。岩室温泉での取材で JR 東日本の企画でした。高島屋の女将と家族一緒に取材していただきました。

斎藤弘文さん

3 連休を利用しての「アンコール・ワット 5 日間の旅」に夫婦で参加して楽しんで参りました。企画した近畿日本ツーリストにお礼申し上げます。

山田富義さん

3月、4月、公私共に忙しいです。

佐藤 武さん

清水さん、出雲崎での写真有難うございます。楽しかったこと、美味だったことを、まだ楽しんでおります。

永井敏行さん

大切に育てた雪割草が咲き始めました。今頃の時期が一番好きです。

高森章仁さん

渡邊会長さんを週刊文春のグラビアで見ました。有名人の一人であります。

菊池 涉さん

徐々に京都でおいしいものを食べてきました。夜の祇園も少しだけ歩いてきました。

藤田紘一さん

ようやく春めいてきました。長い冬でしたが、ようやく元気が出てくるようです。卓話を期待致します。

川瀬康裕さん

所用で早退させていただきます。

荻根澤隆雄さん

春です。冬眠していた水虫が眼を覚ました。困っております。今日は若槻さん、卓話ご苦労様です。

石塚欣司さん、石月良典さん、丸山行彦さん、船越正夫さん、松永一義さん、会田二郎さん、樺山 仁さん、五十嵐昭一さん、外山雅也さん

若槻さん、卓話ご苦労様です。楽しみにしております。

3月23日分 ￥ 24,000

今年度累計 ￥ 790,000

ロータリー財団

川瀬康裕さん

三男が東京芸大に入学しました。

渡辺勝利さん

9 人目の孫誕生、内孫 4 姉妹となりました。

3月23日分 ￥ 4,000

今年度累計 ￥ 47,000

卓 話

『鳥居』について

若槻八十彦会員

鳥居のいわれ



鳥居とは神が降臨する神域と人間が住む俗界を区画するもので、神社に常設の社殿が登場する以前から存在した。つまり社殿が無くとも鳥居があればすなわちそこが神の神域、神社になるのだ。今でも鎮守の杜の入り口に鳥居だけが建てられ、本殿がない神社は各地に見ることが出来る。

鳥居のルーツについてはさまざまな説がある。

1. インドのストゥーパ(仏舍利をおさめた仏塔)の前にトラーナという門があるが、この門が鳥居に似ており、また、トラーナという音もトリイに似ている事からこれが鳥居の起源であるという説。
2. 中国で宮城や陵墓の前に建てられた華表 かひょうという門が鳥居の起源だとする説。華表の字に「とれい」という訓をあてることもあり、華表というのは鳥居の中国語訳にもなっている。
3. 日本では古くから2本の柱の上部に注連縄を渡した「しめ柱」というものがあり、これが鳥居の原型だとする説。
4. 『古事記』に次のような神話がある。天照大神が天岩戸に隠れた時に、神々は天岩戸の前で「常世の長鳴き鳥(ニワトリの古称)」を鳴かせて岩戸を開き、大神を引っ張り出そうとした。この鳥を止まらせるために作った止まり木が鳥居の起源であるという。現在でも止まり木に鶏を止まらせて鳴き声を競う神事が各地で行われているのは、この故事にちなんだものである。このことから「鳥の止まり居るところ」というのが鳥居の語源であるという。また鳥居を通して神域に入っていくことから、「通り入る」という言葉から転化したとも言われている。

いずれにしても鳥居は俗界と神域を区画する『結界』として、太古の昔から神社には欠かす事の出来ない存在だったものと考えられている。

石造りの鳥居の歴史

「鳥居」の用材は木製が最初で、素木もあれば朱塗りもあった。それから丈夫で長持ちのする石造りの鳥居が造られるようになった。現存する石造りの鳥居の初期の遺品としては、山形市小立、同成沢、天童市荒谷の3箇所の鳥居が有名で、何れも平安時代後期の造立。この三鳥居は、柱間の広さに対して背が低く、石材は太くて全体に規模が小さいのが特徴。また、江戸時代以前のものは全国的に見ても比較的少なく、山形県、兵庫県、佐賀県に偏った感がある。

「最上の三鳥居」(日本最古と云われる鳥居)

山形市には二つの国指定重要文化財の石鳥居がある。天童市の清池の石鳥居を含め「最上の三鳥居」と呼ばれる。蔵王山の前山にあたる「瀧山(りゅうざん)」。ここにあった霊山寺(りょうぜんじ)の参道入口(登山道)に「成沢の鳥居」「元木の鳥居」は建てられたと伝わる。

1. 八幡神社石鳥居 山形市蔵王成沢字館山(国指定重要文化財)
2. 元木の石鳥居 山形市鳥居ヶ丘(和27年11月国指定重要文化財となる)

3. 清池の石鳥居 山形県天童市荒谷(昭和30年8月県指定有形文化財となる)

蔵王山に由来する瀧山信仰に関わる「最上の三鳥居」は、ともに凝灰岩製であり、細部の様式も同じである。古文書から平安末期の作と推定される。どうして、山形に日本最古と云われる鳥居が、こんなにあるのか。謎ではあるが、地震が少ない地とする意見もある。材料に恵まれ平安末期の密教に関連して建てられた石鳥居が、ずんぐりした形状と地震が少ない地の二つの条件によりここに生き残った、そう考えられる。「最上の三鳥居」は、すべて八幡鳥居の形である。東北の蔵王山とか月山とかの霊場を舞台として山岳密教の修験者はこの鳥居を礼拝したのであろう。それでは、その鳥居の先には何があったか。霊山(神仏を祀る山)ではなかろうか。日本の各地に残る山岳信仰の霊場にはこの様な石鳥居が多くあったのかもしれない。たまたま、地震に強い形で地震の少ない地に当時のままの姿を止めた。その可能性は大きいように思われる。古(いにしえ)の姿を今に伝える三つの石鳥居が「山寺」を向き西面して立つ姿から私達はどんな物語に思いを馳せればいいのか。山寺も瀧山も天台密教として栄えたところである。仏や菩薩が表れる(垂迹)場合、本来の姿(本地)を奥に秘めて神という仮の姿を示すという。この密教教典は、以後神仏合体の日本の信仰の本流を形成していったことになる。

『狛犬』について

日本の神社の獅子は狛犬と呼ばれる。中国では、漢の時代に守護神的に廟所の前に石彫の獅子が置かれるようになったのが始まりと言われる。呼び方の「狛犬」からわかるように、朝鮮半島の高麗経由で伝わったとするのが定説のようだ。日本では、平安から鎌倉時代にかけて木彫の狛犬がみられ、石造としての古いものは、奈良東大寺南大門・仁王像の裏に建っている狛犬で建久2年(1169)石材を宋から輸入し、宋の石工に造らせたものといわれる。

狛犬の起源は?

古くは古代オリエントにまで遡る。国王が強大な力を得るために、地上最強の動物(と思われていた)獅子(ライオン)の力を王に宿らせるという思想があり、玉座(王の椅子)の肘掛けに獅子頭を刻んだりするようになった事。

日本に狛犬が入ってきたきっかけは?

いろいろな説があるが、インド・ガンダーラを經由して、獅子座思想は中国に入る。中国でも、皇帝の守護獣として獅子像が定着したが、それを見た遣唐使が、日本に帰ってきてから、宮中に獅子座思想を持ち込んだ。しかし、日本に持ち込まれた直後に、一對の獅子像は日本独特の「獅子・狛犬」という形式に変わる。獅子は黄色で口を開け角はなし。狛犬は白色で口を閉じ、角があるというもの。この「阿吽」形式は、恐らく寺の山門を守る仁王像の阿吽などを取り入れたものと思われる。これが日本独特の「狛犬」の始まりで、時期は平安時代後期と言われている。

狛犬が神社に置かれるようになったのはいつ?

当初、狛犬は宮中のもので、神社にはいなかった。神社に入ったきっかけは、神社に神像を置くようになったことだろう。神像は生き神としての天皇を模して作られたので、それを守る霊獣として狛犬も置くようになったのだろう。

成沢八幡神社石鳥居



元木の石鳥居



清池の石鳥居



最後に、日本各地の、さまざまな狛犬を載せてみた。造られた時代や地域によって、それぞれ、全体の形や表情、しっぽ等がみな違って、バラエティーに富んでいる。

さまざまな狛犬



4月の行事予定



三条ロータリークラブ例会日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 市内3RC 次年度会長・幹事会 18:00～ 於:ロイヤルホテル
3	4 三条南RC 「雑誌月間」	5 三条北RC 「雑誌月間」	6 三条RC 「雑誌月間」 中村和彦 雑誌委員長	7	8	9
10	11 三条南RC 卓話 竹山昭二会員	12 三条北RC 10日(日) 観桜例会	13 三条RC 外部卓話 弥彦村観光協会 会長 白崎豊大様	14	15	16
17	18 三条南RC 旬例会 於:ホテルみのや	19 三条北RC 卓話予定	20 三条RC 卓話 佐藤文彦会員	21	22	23 新津RC 50周年 記念式典
24	25 三条南RC 卓話 坪井正康会員	26 三条北RC 卓話予定 市内6クラブ現・次 年度会長・幹事会	27 三条RC 並木富士雄会員	28	29	30

次週例会 4月6日 「雑誌月間」中村和彦会員

次々週例会 4月13日 外部卓話 弥彦村観光協会 会長 白崎豊大 様